



31

自己/他者/物語  
走れメロス

ウオーミングアップ



読解の道しるべ

刑場	村から王城への道のり	メロスの村	王城	シラクスの町
メロスとセリヌンティウスの信実 暴君ディオニスの改心	メロスの迷い	妹の 結婚式	メロスと王デ イオニスとの 約束	メロスの怒り
<p>縄はほどかれる。</p> <p>メロス：途中で一度、セリヌンティウスを裏切ろうとしたと告白。</p> <p>セリヌンティウス：一度だけ、メロスを疑ったことを告白。</p> <p>ディオニス：二人の様子を見て、信実とは妄想ではないと気づく。</p>	<p>泉の水音に目覚め、再び走る気力を取り戻して、走り出す。</p> <p>メロスは、疾風のごとく刑場に突入する。セリヌンティウスの</p>	<p>メロスは村に帰って、妹の結婚式を挙げ、故郷への未練を断ち切るようにして、王城へ向かって走り出す。</p> <p>メロスは、殺されるために走る。身代わりの友を救うために走る。</p> <p>濁流に荒れ狂う川：満身の力をこめて泳ぎきる。</p> <p>山賊の待ち伏せ：猛然と立ち向かい、殴り倒す。</p> <p>疲れ果てたメロスは、膝を折る。走ることを諦め、セリヌンティウスをも裏切ってしまうかと考えているうちにまどろんでしまう。</p>	<p>王との対決→メロスははりつけにされることになる。</p> <p>王との約束→妹の結婚式を挙げるため、三日間の猶予をもらう。</p> <p>人質 無二の友人セリヌンティウス</p>	<p>シラクスの町の人：この町の王、ディオニスは、人を信ずることができないと言っては、身内ですら殺してしまう。</p> <p>これを知って、メロスは激怒した。</p>

太宰治

ねらい

- ① 人稱の変化に着目し、人物の心情や言動の変化を表すうえで役割や効果を捉えよう。
- ② 登場人物や語り手のものの見方や考えを理解しよう。

「読解の道しるべ」を参考にして書こう。

① メロスは、友であるセリヌンティウスに  になってもらい、  
で王のもとに戻るといふ約束をする。

② メロスは疲れ、自暴自棄になるが、再び  気力を取り戻す。

漢字・語句を確認しよう。

1 線の読み仮名を書きなさい。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ① 邪知にたける。    | ② 衣装を買う。     |
| ③ 警吏が巡回する。   | ④ 眉間にしわを寄せる。 |
| ⑤ 民の声に耳を傾ける。 | ⑥ 相手を嘲笑する。   |
| ⑦ 命乞いをする。    | ⑧ 支度を調える。    |
| ⑨ 蒸し暑い日。     | ⑩ 今宵の天気。     |
| ⑪ 悠々と支度する。   | ⑫ 渡し守の仕事。    |
| ⑬ 繫舟が流される。   | ⑭ 誠の心。       |

- |      |   |      |   |
|------|---|------|---|
| □ 17 | ヒレツ <small>こうい</small> な行為。                         | □ 18 | ミニク <small>こうい</small> い感情。                         |
| □ 15 | ロボウ <small>こうい</small> に花が咲く。                       | □ 16 | 敵をアザム <small>こうい</small> く。                         |
| □ 13 | サンゾク <small>こうい</small> と出くわす。                      | □ 14 | 悪人をナグ <small>こうい</small> る。                         |
| □ 11 | ダクリユウ <small>こうい</small> が押し寄せる。                    | □ 12 | ムダ <small>こうい</small> な作業。                          |
| □ 9  | フィット <small>こうい</small> な予感がする。                     | □ 10 | メイヨ <small>こうい</small> なことだと思 <small>こうい</small> う。 |
| □ 7  | バス <small>こうい</small> がトウチャク <small>こうい</small> する。 | □ 8  | シャジク <small>こうい</small> が折れる。                       |
| □ 5  | テイシュ <small>こうい</small> と話す。                        | □ 6  | ビンカン <small>こうい</small> に反応する。                      |
| □ 3  | 要求をコバ <small>こうい</small> む。                         | □ 4  | シヨケイ <small>こうい</small> の期日。                        |
| □ 1  | ハナムコ <small>こうい</small> の挨拶。                        | □ 2  | シユクエン <small>こうい</small> の準備。                       |

**2** 線の片仮名を漢字で書きなさい。

- |      |  |      |   |
|------|--|------|---|
| □ 21 | 拳 <small>こうい</small> を握 <small>こうい</small> る。                          | □ 22 | 神 <small>こうい</small> に哀願 <small>こうい</small> する。                       |
| □ 19 | 風体 <small>こうい</small> を <small>こうい</small> 気に <small>こうい</small> しない。  | □ 20 | 一片 <small>こうい</small> の希望 <small>こうい</small> を抱 <small>こうい</small> く。 |
| □ 17 | 思 <small>こうい</small> いを断 <small>こうい</small> ち切 <small>こうい</small> る。   | □ 18 | 真紅 <small>こうい</small> の旗 <small>こうい</small> 。                         |
| □ 15 | 疑惑 <small>こうい</small> の目 <small>こうい</small> で見 <small>こうい</small> られる。 | □ 16 | 気持 <small>こうい</small> ちが萎 <small>こうい</small> える。                      |

**3** 次の各問いに答えなさい。

- |      |   |      |  |
|------|---|------|--|
| □ 19 | 太陽 <small>こうい</small> がカガヤ <small>こうい</small> く。  | □ 20 | ゼンラタイ <small>こうい</small> をさ <small>こうい</small> らす。 |
| □ 21 | トウロウ <small>こうい</small> に上 <small>こうい</small> る。  | □ 22 | ホウヨウ <small>こうい</small> を交 <small>こうい</small> わす。  |
| □ 23 | クウキヨ <small>こうい</small> な気持 <small>こうい</small> ち。 | □ 24 | 義務 <small>こうい</small> をスイコウ <small>こうい</small> する。 |
- (1) 次の——線部の語句の意味を答えなさい。
- |     |   |
|-----|---|
| □ 1 | 母は兄の口のきき方に激怒した。                                 |
| □ 2 | 友達は律儀 <small>りちぎ</small> な性格だ。                  |
| □ 3 | 祝宴 <small>しゆえん</small> は深夜まで続いた。                |
| □ 4 | 彼女と私は竹馬の友だ。                                     |
| □ 5 | 祖父は眉間 <small>まゆま</small> に深いしわを寄せた。             |
| □ 6 | 先生の恩 <small>おん</small> に報 <small>むか</small> いる。 |

□⑦ 彼は、ドアのところで瞬時立ち止まった。

□⑧ 店に入るかどうかためらう。

□⑨ 彼とは無二の親友になった。

□⑩ 愛と誠の偉大な力を示す。

□⑪ 満身の力をこめて、波をかき分ける。

□⑫ 己の義務を遂行する。

(2) 次の語句の使い方が正しいものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。

□① 疲労困憊

ア 父は、仕事を立て込んで疲労困憊している。

イ 一時間だけ寝たら、疲労困憊して元気になった。

ウ 体力があるので、かなり疲労困憊した。

エ 彼は去年、腕の骨を疲労困憊してしまった。

□② 頑強

ア その犬は頑強に怪しい侵入者になった。

イ 彼が旅行を勧めるので、頑強に了解してしまった。

ウ 兄は頑強に自分の考えを押しとおした。

□③ 毎日頑強に勉強したのに、満点が取れなかった。  
エ くだめる

ア 床に落ちてくしゃくしゃになった服をくだめる。  
イ おもちゃを買ってくれと泣く子どもをくだめる。

ウ いよいよ自分の発表だと思いと胸がくだめる。  
エ 湖に何羽もの鳥が降り立って水面がくだめる。

□④ 未練

ア うどんは粉っぽくて未練が残っていた。

イ 明日の学校の準備は未練を残している。

ウ 故郷の家に残した愛犬に未練が残る。

エ 彼が百点を取ったと聞いて未練を覚えた。

□⑤ 持ちまえ

ア 友人が、指輪は持ちまへの安物だと謙遜した。

イ 待ちに待った持ちまへのラーメンが届いた。

ウ 彼は、持ちまえのお菓子を皆に振る舞った。

エ 彼女は、持ちまへの明るさで苦難を乗り切った。

□⑥ うずくまる

ア 悪事が見つかりはしないかと胸がうずくまる。

イ 腹痛に耐えかねて、その場にうずくまる。

ウ 冬の朝は、手袋をしていないと指がうずくまる。

エ 喉がうずくまると言って、彼はうがいをした。

□⑦ すがりつく

ア 退屈だったので、足元の砂をすがりつく。

イ 買ってもらったばかりのスニーカーですがりつく。

ウ 迷子の小さな男の子が、泣きながら私にすがりつく。

エ 車が跳ね上げた泥水が、白いシャツにすがりつく。

□⑧ 躍り出る

ア 大きな犬が、突然目の前に躍り出る。

イ 妹が泣きながら自分の部屋に躍り出る。

ウ 海底から、幾つもの泡が静かに躍り出る。

エ 私がぶつかると、机の上のものが躍り出る。

□⑨ ひるむ

ア 春が近づき、寒さが日に日にひるむ。

イ 肉の片面を焼き、さらにひるむ。

ウ 強い風が吹き、洗濯物がひるむ。

エ 父の剣幕に、思わずひるむ。

□⑩ 欺く

ア だんだん東の空が明るくなると、月は西に欺く。

イ 弟が抱えている悩みを、親身になって欺く。

ウ 味方は、敵の目を欺くための策を練った。

エ 彼女が読んでいる本は、目を欺くほど難しい。

□⑪ まどろむ

ア 春の穏やかな日差しの中で、しばしまどろむ。

イ 地図をなくしてしまい、道順がわからずにまどろむ。

ウ 眠っていたところに大きな音がして、夢からまどろむ。

エ 人生の岐路に立ち、進路についてまどろむ。

□① 敏感

↓


□② 承諾

↓


鈍 否 感 拒

(4) 次の語句の類義語として最も適切なものをあとから選び、記号で答えなさい。

□① 嘲笑

ア 爆笑

ウ 大笑

□② 日限

ア 限界

ウ 日没

□③ 萎える

ア 溶ける

ウ たまる

(5) 「シンジツ」の同音語(同音異義語)を漢字で書き分けなさい。

□ a [ ] を尽くして接する。

□ b 事の [ ] を明らかにする。

(6) 次の「 」に入る語句をあとの中の中から選んで書きなさい。

□① [ ] 体育祭の朝になった。

□② 台所から、[ ] 甘い匂いがした。

□③ さっき見かけたのは、[ ] 彼だったのだ。

□④ 彼は、[ ] 迷いのない様子だった。

やけに みじんも ついに やはり



練習問題 1

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

教科書 P. 249 ②, 7 ~ P. 251 ②, 2

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□(2) ——— 線②「メロスは、単純な男であった」とありますが、「単純」とはこの場合、どういう意味ですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 自分の考えというものがなく、簡単に人の言葉に左右されてしまうこと。  
イ 世の中のことにうとく、ものの善悪がまるでわからないこと。

ウ 表面的なことばかりにとらわれて、ものごとの本質が見えないこと。

エ 人の言葉をまっすぐに受け取り、感情のままに突っ走ってしまうこと。

( ) ( )

□(3) ——— 線③「暴君ディオニス」とありますが、王が「暴君」とされているのはなぜですか。その理由を述べた次の文の□□に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

王は、  
□□□□□□□□□□  
を、次々と □□□□□□□□□□  
から。

(4) ——— 線④「町を……救うのだ」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□Ⅰ 具体的にどうすることで町を救うのですか。

□Ⅱ Ⅰのメロスの考えがわかるメロスの言葉を文中からひと続きの二文で探し、その初めと終わりの四字を書き抜きなさい。

□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□

□(5) ——— 線⑤「おまえがか？」には、メロスに対する王のどのような気持ちがかめられていますか。あてはまらないものを次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。

□(1) — 線①「人を、信ずることができぬ」とありますが、このような王に対するメロスの考えが述べられている部分を、文中から**十八字**で書き抜きなさい。


著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(太宰治『走れメロス』)

35

30

25

- ア あざけり
- イ 同情
- ウ 驚き
- エ 不愉快

(6) — 線⑥「わしの孤独」について、次のⅠ・Ⅱに答えなさい。

□Ⅰ 王はなぜ孤独なのですか。文中の言葉を使って、**十五字以内**で書きなさい。


□Ⅱ 孤独に陥り、苦悩する王の表情が描かれた一文を文中から探し、その**初めの五字**を書き抜きなさい。


□(7) — 線⑦「わしには、人のほらわたの奥底が見え透いてならぬ」とありますが、王は人間をどのようなものだと考えているのですか。文中から**四字**で書き抜きなさい。


□(8) 王ディオニスはどのような人物として描かれていますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

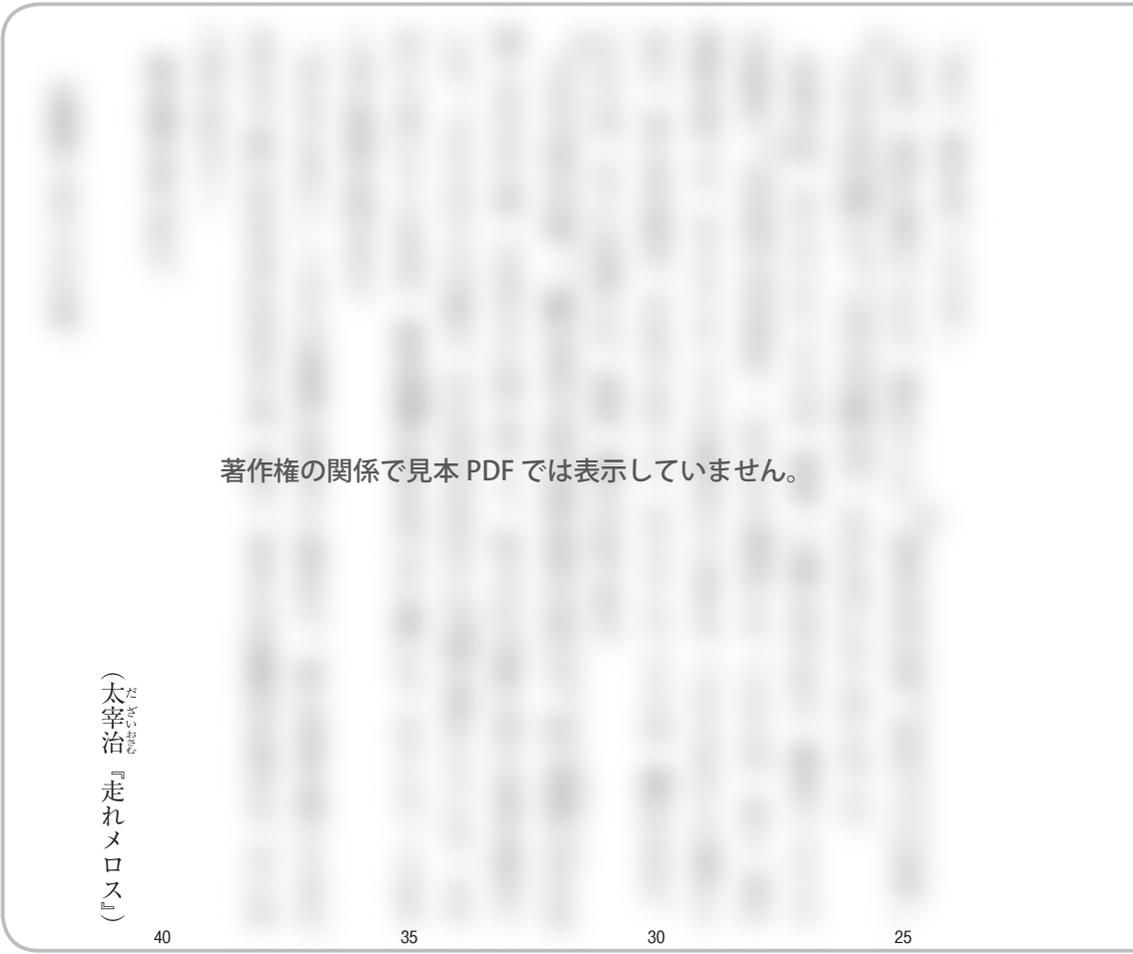
- ア 臣下や国民から完全に見放された孤独な人間。
- イ 自分の権力を守るためなら何でもする軽率な人間。
- ウ 権力者ゆえの孤独と人間不信に苦しむ不幸な人間。
- エ 自らの理想と厳しい現実のはざままで苦悩する人間。

( )



□(1) ———線①「逃がした小鳥」とは、誰のことですか。文中から書き抜きなさい。

[ ]



著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(太宰治『走れメロス』)

40

35

30

25

□(5) ———線⑤「おまえの心は、わかっているぞ」とありますが、王が考えているメロスの「心」とは、どのようなものですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 身代わりを裏切って自分だけ助かろうとしている。

イ 同情を引いて逃がしてもらおうとしている。

ウ 王を油断させておいて命を奪おうとしている。

エ 身代わりになる男がいると言って王をだまそうとしている。( )

□(6) ———線⑥「メロスは口惜しく、じだんだ踏んだ」とありますが、それはなぜですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 寛大さをよそおう王の態度が気に入らなかったから。

イ 助かろうとしているのを王に見透かされたと思ったから。

ウ 人を殺すことに異常な執念を見せる王が許せなかったから。

エ 王が自分を信じず、卑怯者だと決めつけているとわかったから。( )

□(7) ———線⑦「よき友とよき友」とありますが、「よき友」であることがわかるセリヌンティウスの様子を表す一文を文中から探し、その初めと終わりの四字を書き抜きなさい。

[ ]

□(8) ———線⑧「メロスはその夜……村へ到着した」とありますが、このときのメロスはどんな様子でしたか。それがわかる言葉を文中から四字で書き抜きなさい。

[ ]



### 練習問題 3

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

教科書 P. 257 0. 7 ~ P. 259 0. 2

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□(2) [ ] に入る言葉として最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 王への忠誠心
- イ 約束を破る心
- ウ 友を助ける気持ち
- エ 走り切る体力

( ) ( )

□(3) ——— 線② 「私は不信の徒ではない」とありますが、メロスは自分のことを何だと考えていたのですか。文中から四字で書き抜きなさい。

[ ]

□(4) ——— 線③ 「暗い疑惑の雲」とは何のことですか。

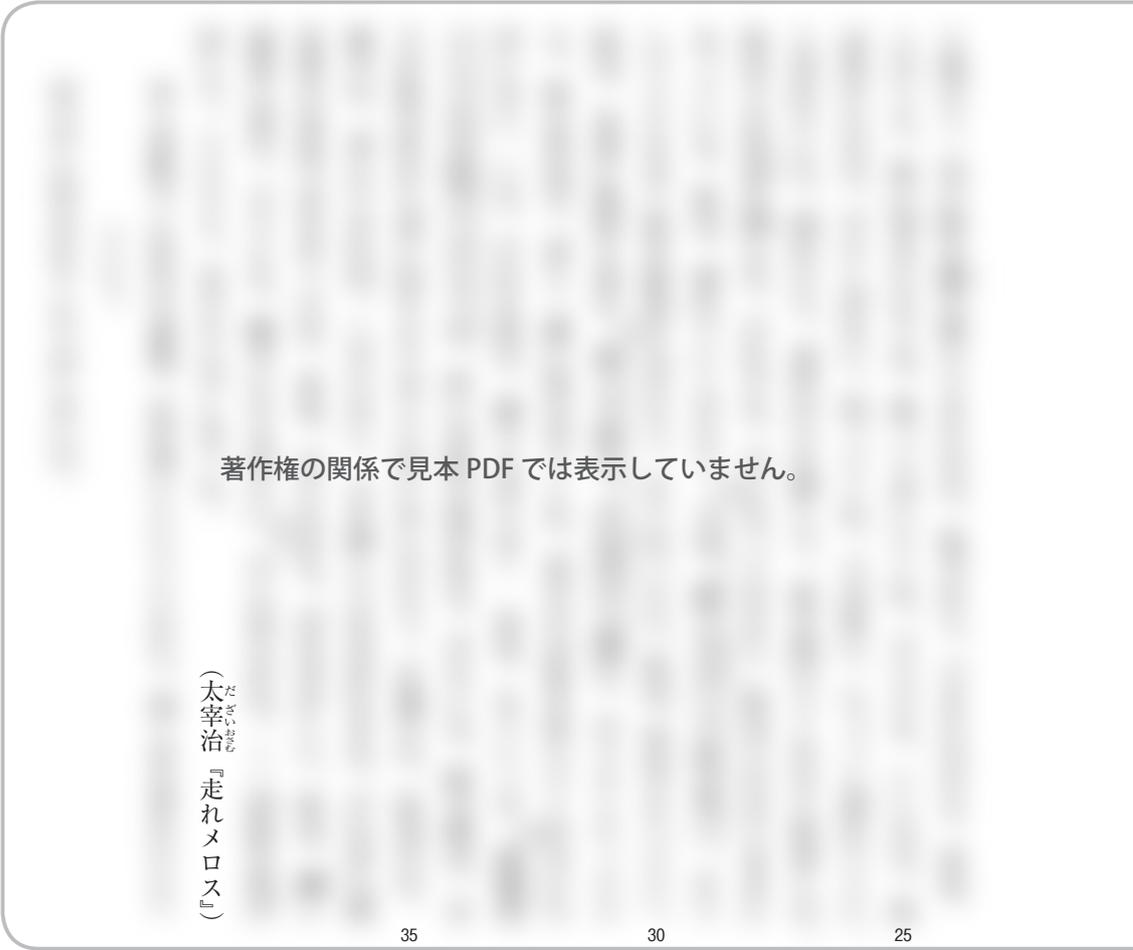
[ ]

□(5) ——— 線④ 「王は、独り合点して私を笑い」とありますが、王がどのように独り合点するのでしょうか。次の文章の [ ] に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

メロスは、自分が [ ] したとおり、わざと [ ] て

きたのだ。やはり、この世に、愛や正義、 [ ] などあるはずがないのだ。

□(6) ——— 線⑤ 「地上で最も、不名誉の人種」とは、ここではどんな人間のこ



著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

(太宰治『走れメロス』)

35

30

25

□(1) ———線①「私は、これほど努力したのだ」とありますが、「努力」の内容を

まとめた次の文の□□に入る言葉を文中から書き抜きなさい。

友との約束を守るために、

□
□
□
□
□
□
□
□

と

□
□
□
□
□
□
□
□

を突破し、疲れて

まで必死に

駆けてきた。

ですか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 自分の都合で信念を簡単に変える人間。

イ 友人さえも信じることのない孤独な人間。

ウ 自分を信じてくれた友人を裏切った人間。

エ 権力者の言うことに喜んで従う人間。

( )

□(7) ———線⑥「悪徳者として生き延びてやろうか」とありますが、「悪徳者として生き延び」とは、具体的にどうすることですか。「〜こと。」につながるように、文中から十五字以内で書き抜きなさい。

□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

こと。

□(8) この場面に描かれていることとして最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア 友を裏切ろうとした自分を責め、今度こそ約束を果たそうとするメロスの決意。

イ 友との約束を果たすために奮闘するメロスの、勇敢で迷いのない姿。

ウ 友との約束を果たせそうにない自分を責めつつも、自己弁護するメロスの葛藤。

エ 身体が疲れきって動けなくなってもなお、負けを認めようとしないメロスの滑稽な姿。

( )



- (1) — 線①「何か小さくささやきながら清水が湧き出ている」の部分に使われている表現技法を次のうちから一つ選び、記号で答えなさい。
- ア 直喩      イ 隠喩  
ウ 擬人法    エ 対句

(太宰治『走れメロス』)

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

40

35

30

25

- (6) — 線⑤「今こんなに走っているのだ」とありますが、メロスが必死に走る様子を表したひと続きの二文をここより前の文中から探し、その初めと終りの五字を書き抜きなさい。


- (7) — 線⑥「遅れてはならぬ」とありますが、約束の時間はいつですか。文中から二字で書き抜きなさい。


- (8) 「」の中の部分では、再び走り出したメロスの様子や状況をどのように表現していますか。最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。
- ア 一つ一つの文を短くして緊迫感を出している。  
イ たとえの表現を多く用いて想像力をかきたてている。  
ウ メロスの心情を詳しく説明することで同情を誘っている。  
エ 風景を描写した表現によってこの先の展開を暗示している。

- (9) — 線⑦、⑧「いや、まだ日は沈まぬ」と、同じ言葉が二度繰り返されていますが、このときのメロスの気持ちとして最も適切なものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

- ア 約束を守れないことはわかっているが、走るしかないと思っている。  
イ 約束を守れることはできないだろうと、あきらめかけている。  
ウ 状況は厳しいが、約束を守れる可能性はあると信じている。  
エ 恨むと言われたことに対して、いきどおりを感じている。

( )

( )

# 定期テスト対策

教科書 P 246 ~ 266

実施時間のめやす ↓ 20分

得点 / 100点

Ⅰ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権の関係で見本 PDF では表示していません。

20

15

10

5

□(1) ——— 線① 「その人」とは、誰のことですか。文中から書き抜きなさい。(5点)

(太宰治『走れメロス』) 40

35

30

25

□(2) ——— 線② 「群衆は、どよめいた」とありますが、なぜどよめいたのですか。「約束」という言葉を使って書きなさい。(15点)

